

令和6年度 学校評価結果の報告書

四国中央市立北小学校

1 自己評価について

(1) 教職員による自己評価（7月前期・1月後期）

7月、1月に全教職員による自己評価（学校評価）を実施した。結果の考察は、各校務分掌の責任者で分担して行い、全教職員で成果と課題・改善策について話し合うことで、その後の改善につなげるようにした。また、その改善策をまとめたプリントを作成し、周知徹底を行った。

年度末の評価結果（％）は、別紙（資料1）のとおりである。

(2) 保護者による教育活動アンケート調査（1月初旬）

保護者に対するアンケート調査は今年度で17年目になる。毎年3学期に実施し、次年度の取組に生かしている。

調査結果は、別紙（資料2）のとおりである。

2 学校関係者評価について

(1) 学校関係者評価委員会の実施

毎年5月と2月に開催している。5月の学校関係者評価委員会では、学校要覧やグランドデザイン等の資料を基に、学校の教育活動について説明し、今年度の教育活動について理解と協力を求めた。

2月には、教職員による学校評価結果、教育活動アンケート調査（保護者）結果について説明を行い、評価を実施するとともに改善点についての助言をいただいた。

2月の評価結果は、別紙（資料3）のとおりである。

(2) 学校関係者評価委員会等における情報交換

学校関係者評価委員には、毎月学校便りを配付したり、様々な行事に案内したりして、その都度情報交換を密に行ってきた。来年度も、今年度以上につながり合い、児童のためにより良い学校になるよう情報交換を行いたい。

3 教職員による自己評価結果

資料1 教職員による自己評価結果 （％表示） 13名

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない

上段：R 5		下段：R 6		A	B	C
1	気持ちのよい挨拶	0	82	18		
		8	83	9		
2	学級やたて割班活動による認め合う仲間づくり	73	27	0		
		18	82	0		
3	つづり方による生活でつながる仲間集団の育成	22	67	11		
		0	73	27		
4	自主的な学習習慣の確立（自主学习、読書）	20	80	0		
		27	73	0		
5	基礎的・基本的な内容の確実な定着（スキルタイムの充実、5問テスト）	67	33	0		
		64	36	0		

6	授業のユニバーサルデザイン化、主体的・対話的で深い学びによる授業改善	40	60	0
		27	73	0
7	めあてをもって取り組む体力づくり	45	55	0
		36	55	9
8	早寝・早起き・朝ご飯・朝トイレ運動の推進	36	64	0
		58	42	0
9	行事・特活が充実している・子どものための行事になっている	64	36	0
		50	50	0
10	教育課程や日課表が適切であり、円滑に実施できている。	91	9	0
		75	25	0
11	考え、議論するための多様で効果的な指導方法への改善が図られているか。	33	67	0
		18	82	0
12	人権・同和教育視点に立った学級づくりや学力保障等に努めている。	73	27	0
		36	55	9
13	差別の現実に関心し、同和問題解決への姿勢確立のための研修ができている	64	36	0
		50	42	8
14	推進のための共通理解・校内支援体制ができている。	55	45	0
		17	67	17
15	特別な教育的ニーズを必要とする児童に適切な支援ができている。	64	36	0
		17	67	17
16	給食指導が適切に行われている。	82	18	0
		33	59	8
17	安全点検・安全指導が適切に行われている。	73	27	0
		75	25	0
18	いじめの早期発見・早期対応に向けてきちんと取り組んでいる。	64	36	0
		75	25	0
19	困難な条件のもとにある児童の把握と継続的な指導がなされている。	64	36	0
		58	42	0
20	適切な言葉遣いの指導がなされている。	45	46	9
		34	58	8
21	清掃を通じた心の指導がなされている。	18	73	9
		25	67	8
22	生活アンケートに基づき子どもに寄り添う指導がなされている	91	9	0
		82	18	0
23	望ましい校外生活指導がなされている	54	46	0
		75	25	0
24	総合的な学習の時間が充実している。	57	43	0
		27	73	0
25	I C T機器の活用が計画的にできている。	45	45	10
		58	42	0
26	校内研修が計画的・効果的に行われている。	82	18	0
		75	25	0
27	授業改善に向けて全教職員で取り組んでいる。	73	27	0
		50	50	0
28	参観日・懇談会、家庭訪問、個別懇談は適切である。	36	55	9
		67	33	0

29	P T Aの組織、活動、役員会運営は適切である。	36	64	0
		58	42	0
30	学校・家庭・地域の連携がよく図られている。	73	27	0
		67	33	0
31	地域の人材、自然、文化遺産等の活用ができています。	73	27	0
		75	25	0
32	校舎内外の美化・清掃がよくできています。	73	27	0
		59	33	8
33	施設・備品・教具・消耗品等が活用しやすい状態である。	100	0	0
		67	33	0
34	校務分掌の責任ある校務遂行ができています	73	27	0
		50	50	0
35	情報管理、諸帳簿の点検・保管、金銭の管理・経理ができています。	100	0	0
		75	25	0
36	教職員が互いに支え合い、気持ちよく働ける職場になっている。	46	54	0
		50	33	17
37	一人一人の良さを認め合い、励まし合える機会を多く持つ。(グランドデザインより)			
		42	58	0

4 自己評価を受けての今後（来年度）の方向性

検討事項	内 容
1 挨拶	・ 高学年が中心となって全校に呼び掛ける。
2 つづり方	・ つづり方の職員研修の時間を取って、来年度の方向性を検討する。
3 生徒指導	・ 指導の仕方に学年での差が出ないように、指導の徹底、ルールの遵守を行う。
4 給食指導	・ 栄養教諭と協力し、食育指導を行っていく。学級でもマナーや栄養について、発達段階に合った指導を行う。
5 学校改善	・ 互いに忙しいが、手助けや提案をしていく気持ちを持つ。 ・ I C Tや校務支援システムを活用し、業務負担軽減につなげる。
6 3学期の参観日	・ 3学期の参観日の時期を検討してほしい。 → 1月の人権・同和教育地域参観日は北小の伝統であり、他の月への変更は難しい。
7 働き方改革	・ 来年度も、授業時数や学校教育などに支障がなければ、学期末などの水曜日の午後にカットするなど、教職員の勤務時間内に可能な限り業務が行えるようにする。

5 保護者対象教育活動調査

資料2 保護者による教育活動アンケート調査 (%表示) ・ ・ 回答率 79%

番号	質 問	R 5	当てはまる	やや当てはまる	やや当てはまらない	ほとんど当てはまらない
		R 6				
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	47	47	45	6	2
		59	59	34	7	0
2	子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	35	35	53	11	1
		42	42	43	15	0
3	子どもは、意欲的に家庭学習に取り組んでいる。	26	26	39	29	6
		32	32	42	17	9
4	先生は、一人一人の子どもをよく理解しようとしている。	51	51	45	3	1
		59	59	36	4	2
5	先生は、子どものことについての相談に、適切に応じている。	61	61	35	3	1
		62	62	28	8	2
6	学校は、発達段階に応じて、人権尊重の意識を育てている。	53	53	41	5	1
		67	67	29	4	0
7	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	31	31	59	9	1
		52	52	46	2	0
8	学校は、保護者が授業を参観する機会を多く設けている。	54	54	42	4	0
		69	69	25	6	0
9	学校は、地域や保護者の声をくみとる努力をしている。	37	37	52	10	1
		62	62	30	8	0
10	運動会や音楽会などの学校行事に、参加しやすくなっている。	65	65	36	0	0
		88	88	12	0	0
11	学校だよりや学級だより等は、効果的で役に立っている。	61	61	37	2	0
		77	77	19	4	0
12	学校が保護者に出す文書や電話の応対等は、適切である。	51	51	43	6	0
		77	77	21	0	2

【保護者のご意見】

- いつも先生は子どもに寄り添った対応をしていただけて感謝しています。何かあれば連絡をいただけて、安心して子どもを預けられています。
- いつもお世話になっております。息子と先生との信頼関係がすごく伝わります。とても有り難いです。どの学年でもそうであれば安心です。
- 行事や参観日など続けてほしいです。

主な要望・改善点に対して、今後の対応を確認しました

- ◇ 人権学習は親もする必要はあるのか。人権学習は参加するかしないかアンケートを取り、参加する人だけ実施してほしい。夜に学校に集まり人権学習する必要はあるのか。先生方の負担にもなると思う。
- ◇ 人権・同和教育も大事ではあると思いますが、まずは礼儀正しく、心を磨き自分の行

動に責任を持つことを教えることが大切ではないかと思います。

→ 本校では、全ての教育活動の中心に人権・同和教育を位置付け、毎年の教育実践を積み重ねてきました。人権・同和教育とは、「人権尊重の意識を高め、同和問題やその他の様々な人権問題の解決を目指す教育」で、自分の生き方を考えます。同和問題だけでなく、障がい者への差別問題やいじめなどについても、道徳科や総合的な学習の時間を中心に学習しています。その成果として、優しく思いやりのある子供たちが育っていると感じています。そして、子供たちの学びを共に支えていただくために、ご都合を付けてご参加くださっていることに深く感謝しております。どうしても都合の付かない場合は、学校までご連絡ください。個別に対応してまいります。

なお、礼儀や責任感の向上等に関する指導も、大切なことだと考えています。道徳科や日常の生活を通してしっかり指導してまいります。

◇ 地震の時の避難経路や、保護者との連絡方法、引き取りや車の動きの流れを把握したい。運動会など、保護者の集まるタイミングで行っている学校がある。

→ 学校では災害時にどのように活動するかという「防災マニュアル」を作成しており、避難訓練等も実施しているところですが、有事の際に保護者の皆様や地域とどう連携するか、ということが十分にお伝えできていないなと感じています。これについては、2学期の学校運営協議会でも議題に挙がりました。今後、しっかりとお伝えしていくとともに、引き渡し訓練等も検討してまいります。

◇ 手が掛かる、掛からない関係なく子どもへの声掛けは皆平等に行ってほしいです。

→ 学校全体で、一人一人の子供にとって平等な指導、どの子供も「先生は自分を見てくれているな」と思える指導を心掛けます。気になることがありましたら、学校までご連絡ください。

◇ いつもお世話になっております。授業参観の回数がもう少しあればいいなと思います。人権・同和教育や防災の授業も大切ですが、国語や算数などの授業ももっとみたいです。

◇ 参観授業ですが、開催していただきありがたいのですがここ最近の参観日の授業内容は人権・同和教育や防災参観ばかりなどで親としては国語や算数などの普段の授業内容の参観を希望いたします。

→ 教科の参観授業を増やします。

◇ 運動会の種目がもう少しあればいいなと思います。あっという間に終わってしまって少し物足りない感じがしています。

→ 児童の負担にならないように検討します。種目があるごとに、練習時間が増えるのが悩ましいところですが。

◇ 陸上クラブをつくってほしいです。

→ 教員の数にもよりますが、クラブ担当と検討します。

◇ 冬の服装について 個人差があるので、耳当て、ネックウォーマー、防寒着など着ていけるように検討してほしい。最近の子はしもやけになる人が結構いるので、戦争時代ではないのだから、そういうところを融通きかせてもらいたい。使い捨てカイロなども、もったいないので、充電式も認めてもらえればと思う。また夏場など、日傘なども検討してほしい。

→ 学校での決まりについて、時代に沿ったものになるよう検討してまいります。

(ネックウォーマー、防寒着については、以前から構わないようにしています。十分にお伝えできていなくてすみません。耳当ては、周りの音が聞こえにくくなり、安全面を考えてしてこないようにしています。)

6 学校関係者評価

資料3 学校関係者評価結果 (%表示)

4 …とても当てはまる

3 … どちらかという と 当てはまる

2 …どちらかというとき当てはまらない 1 …全く当てはまらない

＜市内共通項目＞		4	3	2	1
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	63	37	0	0
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	50	50	0	0
3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	75	25	0	0
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	63	37	0	0
5	学校関係者評価委員会は、適切に運営されているか。	88	12	0	0
＜本校の評価項目＞		4	3	2	1
6	児童は、友達となかよく元気に活動しているか。	88	12	0	0
7	教職員は、生き生きと教育活動に取り組んでいるか。	50	50	0	0
8	学習や生活環境の充実が図られ、点検・整備・活用が適切に行われているか。	63	37	0	0

【1年間を通しての感想・提言】

- なかま集会での5年生の人権劇がすばらしかった。SNSの利用の仕方など、その時々の子供達から発信するテーマを考えて発信している。これが北小の伝統となっている。感想交流もがんばって言えていた。声が小さかったのが残念であった。
- 適宜適切に児童を指導し、保護者の啓発に努める北小の教師集団を信頼している。本当にありがたい。
- 挨拶の声は、大きな声でできていますが、参観授業の中での発表は、少し声が小さいです。
- 子供たちは、5つの目標ができています。
- 校内環境の点検は教職員の手でほぼ行うことができるが、その結果を踏まえての整備・補修には十分な予算が市教委及び学校に計上されていることが不可欠と思う。行政が実態を把握し、十分な予算化を図ることが大切である。